

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

1-2

事業名	保育所施設整備の助成・認定こども園施設整備の助成
担当課	子育て支援課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	3,922,000			決算額計(千円)	2,199,016		
事業の概要・目的	施設整備の促進により、保育所等待機児童の早期解消を図るため、国の交付金や補助金を活用して、保育所、幼保連携型認定こども園及び保育所型認定こども園、幼稚園型認定こども園(保育所部分)整備の施設整備を助成するとともに、県単独施策の「保育所整備促進事業」及び「賃貸による保育所・小規模保育事業所緊急整備事業」で上乗せ補助を行う。						
数値目標など							
指標名等	①子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート) ②保育所等待機児童数						
目標	①80%以上 ②待機児童の解消を目指します	実績	①79.2% ②1,020人(H31.4.1)				

2 事業の実施結果

保育所等の施設整備では、民間保育所等(保育所、認定こども園、小規模保育事業所)133施設、定員5,407人分の整備に対して助成した。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	保育所、認定こども園等の施設整備に関する事業
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	保育所の施設整備に関する事業であり、市町村整備計画に基づき整備するため、該当せず。
	3	性に起因する問題に配慮したか	-	施設整備に関する事業のため、該当せず。
実施結果・効果	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	施設整備に関する事業のため、該当せず。
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	施設整備に関する事業のため、該当せず。
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献				
No.	チェック項目	チェック	説明	
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	施設整備に関する事業のため、該当せず。	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	施設整備に関する事業のため、該当せず。	

(2)改善点等

<状況の説明>

平成29年度は、民間保育所等170施設、定員6,340人分の整備を行い、平成30年度は、民間保育所等133施設、定員5,407人分の整備を行った。

<課題・今後改善すべき点>

減少してはいるが、保育所等待機児童の解消にはまだ至っていない。引き続き市町村と連携して、待機児童解消を目指し、保育の受け皿整備を進めていく必要がある。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

3

事業名	放課後児童クラブへの助成
担当課	子育て支援課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	2,092,300			決算額計(千円)	2,070,936		
事業の概要・目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るため、市町村が実施または助成する放課後児童クラブの運営費について助成を行う。						
数値目標など							
指標名等	①子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート) ②保育所待機児童数						
目標	①80%以上 ②待機児童の解消を目指します	実績	①79.2% ②1,020人(H31.4.1)				

2 事業の実施結果

市町村が実施又は助成する放課後児童クラブの運営費について補助を行った(54市町村1,377か所)
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	国の補助事業であり実施主体は市町村であることから、該当せず。
3	性に起因する問題に配慮したか	-	国の補助事業であり実施主体は市町村であることから、該当せず。
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	事業実施に当たり性別の把握は不要のため該当せず。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	事業の目的・趣旨から該当せず。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	事業の目的・趣旨から該当せず。

(2)改善点等

<改善した点>

前年度54市町村1,319か所から58か所増加した。

<課題・今後改善すべき点>

希望したが入所できなかった児童が平成30年5月1日現在で1,602名存在する。放課後児童クラブについては、放課後児童支援員の資質の向上等、今後とも質・量ともに拡充していく必要がある。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

4

事業名	病児保育事業への助成
担当課	子育て支援課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
当初予算額計(千円)	338,200			決算額計(千円)	341,383		
事業の概要・目的	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に実施する保育等を市町村が実施または助成する施設に対して運営費の助成を行う。						
数値目標など							
指標名等	①子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合(子育てアンケート) ②保育所等待機児童数						
目標	①80%以上 ②待機児童の解消を目指します	実績	①79.2% ②1,020人(H31.4.1)				

2 事業の実施結果

市町村が実施する病児保育事業の運営費について、補助を行った(36市町179か所)。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	国の補助事業であり実施主体は市町村であることから、該当せず。
3	性に起因する問題に配慮したか	-	国の補助事業であり実施主体は市町村であることから、該当せず。
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	事業実施に当たり性別の把握は不要のため該当せず。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	事業の目的・趣旨から該当せず。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	事業の目的・趣旨から該当せず。

(2)改善点等

<改善した点>

前年度36市町169か所から10か所増加した。

<課題・今後改善すべき点>

各市町村において、ニーズに応じて事業を行えるよう、引き続き必要な予算を確保する。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

5

事業名	幼稚園・小学校の教員、保育士等による研究協議等の実施
担当課	(教)学習指導課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	2
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	0		
事業の概要・目的	公私立幼稚園教諭、小学校の教員、保育士等を参加対象とする幼稚園教育課程研究協議会を年2回実施する。						
数値目標など							
指標名等	幼稚園教育課程研究協議会の実施回数						
目標	2回	実績	2回				

2 事業の実施結果

平成30年度については、「幼児理解に基づいた評価の在り方について」、「幼稚園における教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動について」及び「幼児期における運動習慣の基盤づくり」をテーマとして協議会を実施した。各園の諸問題についての取組例が積極的に出され、協議に深まりがあった。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
3	性に起因する問題に配慮したか	○	
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	協議会の趣旨が教員等の指導力向上を図るものであるため。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	-	協議会の趣旨が教員等の指導力向上を図るものであるため。
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	協議会の趣旨が教員等の指導力向上を図るものであるため。

(2)改善点等

<改善した点>

体を動かさず場面では、無理のない範囲で活動できるように配慮し、ゆとりのある広い会場で実施するようになった。

<課題・今後改善すべき点>

実施時期を夏季休業中にし、たくさんの方が参加できるように引き続き、配慮する。

参加者数が増加傾向にあるため、分科会数を増やすことで、1つの分科会の参加人数を少なくし、さらに積極的な意見交換ができるようにする。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

6

事業名	幼稚園における預かり保育の推進
担当課	学事課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	3
当初予算額計(千円)	358,000			決算額計(千円)	310,872		
事業の概要・目的	幼稚園の教育時間の前後や休業期間中(長期休業・土日祝日)に、園児を幼稚園内で過ごさせる「預かり保育」を実施する学校法人立等幼稚園に対し人件費を補助することにより、保護者の育児負担軽減及び仕事と生活の調和の促進を図る。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

通常日預かり保育に対する人件費の補助・・・252園へ計264,131千円 長期休業日預かり保育に対する補助・・・217園に計43,354千円 休業日預かり保育に対する補助・・・17園に計3,387千円 合計255園へ310,872千円を交付した。
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	-	
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	
	3	性に起因する問題に配慮したか	-	
実施結果・効果	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	-	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献				
No.	チェック項目	チェック	説明	
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-		
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	保護者の育児負担軽減及びワークライフバランスの促進に貢献した。	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-		

(2)改善点等

<p><改善した点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・休業日・長期休業日分の預かり保育の補助単価(≒補助上限額)について、国の補助単価の変更に併せて、県の補助単価の増額を行った。 <p><課題・今後改善すべき点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の需要は年々増加傾向にある。また、平成27年度の「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、関係団体との連携を図り、さらなる補助の拡充や質の向上に努める。 ・休業日・長期休業日分の預かり保育について、令和元年度に県単独で補助単価の上乗せを行い、補助を拡充する予定である。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

7

事業名	放課後等デイサービス事業の充実
担当課	障害福祉事業課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	4
当初予算額計(千円)	0			決算額計(千円)	0		
事業の概要・目的	放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供するサービスで、児童福祉法に基づく障害児通所支援事業の一つ。対象者は学校教育法第1条に規定される学校に就学している障害児で、授業の終了後又は休業日に支援が必要と認められた者。						
数値目標など							
指標名等	放課後等デイサービス事業所数(第六次千葉県障害者計画)						
目標	580	実績	604				

2 事業の実施結果

放課後等デイサービス事業者の量的拡大を図るとともに、サービス内容に係る情報提供、サービス提供・運営体制等に関する自己評価や保護者による評価、評価及び改善内容の公表の浸透を図った。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	児童福祉法に基づく障害児通所支援であり、性による区別等はない制度である。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	国会、県議会等での審議、パブコメの実施などにより制度ができています。
3	性に起因する問題に配慮したか	○	密室化した場所を極力作らないなどをガイドラインで定めるなどしている。(性的虐待の防止)
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	送迎、延長などの制度がある。また、ホームページによる事業内容の公表を進めている。
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	市町村で一人ひとり支給決定を行っており、市町村において把握している。
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	性別に関係なく利用でき、保護者の多くは夫婦と思われる。性差のみによる受益の差は考えにくい。
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	共働きしやすい環境づくりに貢献していると思われる。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	非常勤職員、パート職員も少なくなく、男女とも時間的制約が少ない部分がある。
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	非常勤職員、パート職員も少なくなく、男女とも時間的制約が少ない部分がある。

(2)改善点等

<改善した点>

実績が目標を上回るなど事業所数が増加し、また、保護者による評価などの公表が進んだ。

<課題・今後改善すべき点>

適切な公表が行われていない事業所に対する指導。
医療的ケア児、重症心身障害児を受け入れられる事業所の拡充。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

8

事業名	障害児短期入所の充実
担当課	障害福祉事業課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	4
当初予算額計(千円)	6,000			決算額計(千円)	5,656		
事業の概要・目的	短期入所とは、居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、障害者支援施設等への短期間の入所を必要とする障害者等につき、当該施設に短期間の入所をさせ、入浴、排せつ又は食事の介護等を提供するサービスであるが、その中でも障害児の入所を充実させようとするもの。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

強度行動障害者(児)や重症心身障害者(児)を受け入れた短期入所事業所に対し報酬の加算を行った。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
実施結果・効果	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	平成20年11月13日に「千葉県短期入所特別支援事業補助金交付要綱」を制定しているが、当時の企画・立案過程は不明である。
	3	性に起因する問題に配慮したか	○	
	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	事業実施主体である市町村にて把握している。
実施結果・効果	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○		

(2)改善点等

<改善した点>

特に無し。

<課題・今後改善すべき点>

重度の障害者(児)を受け入れることができる短期入所事業所の整備促進。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

9

事業名	ちば マイ スタイル ダイアリー事業
担当課	子育て支援課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	5
当初予算額計(千円)	19,000			決算額計(千円)	18,954		
事業の概要・目的	結婚から妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援として、県や市町村からの支援情報の提供や、健康・育児に関する相談受付などを行うスマートフォン用アプリを配信する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

○県内全市町村の婚活、妊活、プレママ・パパ、育児の4つのライフステージにある県民に対し、県や市町村からの支援情報の提供や、健康・育児に関する相談受付などを行うスマートフォン用アプリ「ちば My Style Diary」を配信した。
 ○ダウンロード者数17,938人(平成31年3月31日時点) ※アンインストール者数を含まない
 ○アプリの使い勝手の向上を図るため、大幅なリニューアルを行い、6月29日に報道発表を行った。
 ○市町村への啓発物資の配付に加え、リニューアル後に広報を拡大し、アプリの周知を図った。
 ※主な広報
 ・記事…日本経済新聞(7/5)、産経新聞(8/2)、ちいき新聞(8/3、8/10号 約357千部)、県民だより(9/5)
 ・他媒体…県広報ラジオ番組bay fm78「サタディ・ブレイキング・モーニング」CM(8/25、9/1)、県共通封筒デザイン(H31.2月印刷分)、千葉県医師会発行フリーマガジン「ミレニアム」(平成30年12月発行)、チーバくんTwitterでのツイート(12/17)
 ・千葉県産科婦人科医学会へチラシ及びポスター送付
 ・児童福祉施設へポスター送付
 【内訳】
 認可外保育施設 約300ヶ所
 保育所、認定こども園 1,375ヶ所(H30.4.1時点の施設数)
 幼稚園 510ヶ所(H30.5.1時点の施設数)

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

★視点1 企画への参画			
No.	チェック項目	チェック	説明
1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	性別を問わず利用できるアプリとなっている。
2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	業務委託先はプロポーザル方式で決定した。
3	性に起因する問題に配慮したか	○	アプリは、性別を登録せずに利用することも可能。
★視点2 受益の公平性			
No.	チェック項目	チェック	説明
4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	○	性別を問わず利用できるアプリであり、婚活から育児までのステージにある方に対し、コラム等で啓発を行っている。
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

<改善した点>
 利用者のアンケート結果等を踏まえ、大幅なリニューアル(改修)を行い、使い勝手の向上を図った。また、チーバくんTwitterやラジオCMの他、関係団体に協力を要請し、啓発用チラシやポスターを配布する等、広報の充実に努めた。

<課題・今後改善すべき点>
 開発当初(H26)は、自治体が行う事業としては先駆的な取組であったが、近年は、市町村や民間企業が作成した母子手帳機能を有した類似アプリが増えてきていることから、今後は、類似アプリとの差別化を図るため、県の施策に内容を集約したアプリへの転向を検討している。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

10

事業名	子どもの医療費助成の実施
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	6
当初予算額計(千円)	6,700,000			決算額計(千円)	5,790,269		
事業の概要・目的	子どもの保健施策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、子どもの疾病に係る医療費について、市町村が行う医療費助成に要する経費を助成する。 ・助成対象 入院 中学校3年生まで・通院 小学校3年生まで ・自己負担 入院1日、通院1回につき300円 ・所得制限 児童手当に準拠 ・支給方法 現物給付						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

給付実績 延べ件数 7,112,321件 延べ日数 10,306,195日
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	子育て家庭への医療費助成事業であり、性別役割分担を前提としたものではない。
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	昭和48年からの事業であるため該当しない。
	3	性に起因する問題に配慮したか	-	事業の趣旨から該当しない。
実施結果・効果	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	現物給付方式による助成事業であり、受療医療機関、薬局等で直接利用ができる。
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	事業の趣旨から該当しない。
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	子育て家庭への医療費助成事業であり、男女のいずれか一方に偏るものではない。
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明	
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	事業の趣旨から該当しない。	
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	-	事業の趣旨から該当しない。	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-	事業の趣旨から該当しない。	

(2)改善点等

<改善した点> 特になし
<課題・今後改善すべき点> 子ども医療費助成事業は、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減等、子育て支援の観点から地方単独事業として実施されている制度であるが、対象年齢や自己負担額等制度内容が地域によって異なっているのが現状である。 未来を担う子供を安心して生み育てられる環境づくりを推進するためには、全国どこでも同じ制度の下で医療を受けられるようにすることが重要であり、県としては、全国統一の制度の創設について、あらゆる機会を通じて国に要望しているところである。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

11

事業名	定期巡回、随時対応型訪問介護看護サービスの普及
担当課	高齢者福祉課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	7
当初予算額計(千円)	371,370			決算額計(千円)	24,699		
事業の概要・目的	介護を必要とする高齢者の在宅生活を支えるため、日中と夜間を通じて介護と看護の両方のサービスを受けることができる「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」などの地域密着型サービスの普及を図る。 ○市町村又は民間事業者が実施する施設整備事業に対し市町村が補助する事業に対して市町村に交付する。 ○開設時から安定した質の高いサービスを提供する体制整備等を支援するため、開設前6カ月の準備に必要な人件費等の経費について、市町村又は民間事業者に補助する事業に対して市町村に交付する。						
数値目標など							
指標名等	定期巡回・随時対応型訪問介護看護実施市町村数						
目標	増加を指します	実績	21市(平成30年度末)				

2 事業の実施結果

○民間事業者が実施した施設整備事業1市1施設に対する市の補助事業に対して交付金を交付する(R1年度に繰越)。(5,670千円) ○民間事業者が新たに施設を開設した2市2施設に対する市の開設準備経費補助に対して交付金を交付した。(21,275千円)
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	-	
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	
	3	性に起因する問題に配慮したか	-	
実施結果・効果	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	-	
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-	
	8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	-	
	9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	

(2)改善点等

<改善した点>
特になし

<課題・今後改善すべき点>
特になし

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

12

事業名	特別養護老人ホーム等の施設整備
担当課	高齢者福祉課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	7
当初予算額計(千円)	3,184,000			決算額計(千円)	3,134,700		
事業の概要・目的	在宅での生活が困難な中重度の要介護高齢者の受け皿として特別養護老人ホーム等の施設整備を進める。 ○広域型特別養護老人ホーム(定員30名以上)の施設整備に必要な経費の助成を行う。 ○介護者の急病等により、一時的に居宅での介護が困難となった際などに、短期間の入所を行うため、広域型特別養護老人ホーム(定員30名以上)に併設して老人短期入所居室を整備する場合に補助を行う。 ○地域密着型介護サービス施設等の整備に要する費用について市町村への助成を行う。 ○広域型特別養護老人ホーム(定員30名以上)等の開設前の準備経費に対して助成を行い、また、広域型特別養護老人ホーム等の整備用地確保のために定期借地権を設定し、一時金を支払った場合に助成を行う。 ○小規模な特別養護老人ホーム(定員29名以下)等の開設前の準備経費に対して助成を行い、また、小規模な特別養護老人ホーム等の施設整備用地確保のために定期借地権を設定し、一時金を支払った場合に助成を行う。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業の実施結果

社会福祉法人が整備する特別養護老人ホーム8市町8施設654床の整備に対して補助を行った。(2,943,000千円) R1年度に完成する特別養護老人ホーム6市6施設426床の整備に対して概算払を行った。(191,700千円)
--

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	-	
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	-	
	3	性に起因する問題に配慮したか	-	
実施結果・効果	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	-	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	-	
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	-	
	★視点3 男女共同参画社会形成への貢献			
No.	チェック項目	チェック	説明	
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	-		
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○	特別養護老人ホーム等の施設整備を促進した。	
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	-		

(2)改善点等

<改善した点> 施設整備を促進したとしても介護人材の充足がなくては事業効果が得られないことから、介護人材の確保を図るためベトナム政府と介護人材の確保に関する覚書の締結を行い、ハードとソフトが一体となった事業促進を行える体制を整えた。
<課題・今後改善すべき点> 市町村が行う施設整備事業者の公募が不調となることが多いため、県としてサポートが出来ないか検討を行う。

重点的取組 (1)子育て・介護への支援

《第4次千葉県男女共同参画計画》平成30年度事業 評価シート

施策コード

13

事業名	福祉・介護人材の確保と定着促進
担当課	健康福祉指導課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	7
当初予算額計(千円)	217,500			決算額計(千円)	85,572		
事業の概要・目的	2025年に約28千人の介護職員が不足と言われており、参入促進事業、潜在有資格者再就業促進事業、マッチング機能強化事業、キャリアアップ研修支援事業等により、福祉・介護人材の確保・定着を推進する。						
数値目標など							
指標名等	介護人材確保対策事業費補助対象事業数						
目標	増加を指します	実績	181				

2 事業の実施結果

県内の各地域におけるあらゆる世代の介護人材の更なる確保を図ることを目的に、小学生から一般の方を対象とし、介護の大切さと魅力を伝える「介護人材就業促進事業」や、介護人材のキャリアアップを促進するため、「介護人材キャリアアップ研修事業」など181の事業を実施した。今年度は、50歳以上のシニアの方を対象に「期待しています！シニア人材事業」を実施し、8名の方が就労につながった。

3 評価

(1)男女共同参画の視点からのチェック(該当する項目のみ記載)

企画・立案過程	★視点1 企画への参画			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	1	事業内容や事業の設計が、固定的な性別役割分担を前提としたものになっていないか	○	
	2	企画、立案過程で女性、男性双方が参画したか	○	
	3	性に起因する問題に配慮したか	×	
実施結果・効果	★視点2 受益の公平性			
	No.	チェック項目	チェック	説明
	4	女性、男性双方にとって利用しやすい形態(情報提供、時間帯、その他の配慮(育児・介護の便宜)等)となっているか	○	
	5	事業を利用・参加した人々の性別データが存在するか	○	
	6	男女のいずれか一方に偏った受益となっていないか	○	
★視点3 男女共同参画社会形成への貢献				
No.	チェック項目	チェック	説明	
7	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発となったか	×		
8	ワーク・ライフ・バランスの啓発、促進に貢献したか	○		
9	事業分野における女性、男性の参画の促進に貢献したか	○	男女問わず、介護人材の確保・定着を推進した。	

(2)改善点等

<改善した点>

・初任者研修の受講費用補助について、補助対象に満50歳以上の者に対する直接補助を加えた。
 ・介護福祉士試験実務者研修にかかる代替職員の確保事業において、事業所で雇用している非常勤の職員に限り、勤務時間の延長による人件費も補助対象とした。

<課題・今後改善すべき点>

・就業促進のための研修支援事業に生活援助従事者研修補助を追加する。